

ブレインフーズの定番！高齡化社会に最適な素材

イチョウ葉 *Ginkgo Leaf*

世界中から注目！豊富なバックデータ
ドイツ、フランスでは医薬品カテゴリに



手足の冷えケア



記憶力・集中力・認知機能サポート



聴覚サポート



つらい痛みケア



血圧ケア



ストレス・
メンタルケア

イチョウ葉

Ginkgo Leaf

概 要	原産地の中国では、イチョウ葉は動悸、咳・痰、下痢などに民間薬として用いられていた程度でしたが、1960年代にドイツで行われた抗血小板作用の研究が注目されました。1970年代にはドイツ、フランスで医薬品として開発され、認知症などに対する脳循環改善薬として用いられるようになりました。その後も研究が進められ、耳鳴り・聴覚障害、ストレス・メンタルケア、末梢循環障害など、更に適応範囲が広がっています。
基 原	イチョウ <i>Ginkgo biloba</i> (イチョウ科)
使用部位	主に葉が用いられています。
食薬区分	イチョウの種子・葉は「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）リスト」に掲載
主な成分	kaempferol, quercetin などフラボノイドの配糖体、ginkgolide 類、bilobalide などのテルペンラクトンなど
臨床研究	認知症を含めた記憶障害・集中力低下、脳血管障害、心血管障害、末梢循環障害、感覚器官障害（耳鳴り・聴覚障害、めまいなど）、精神ストレス・メンタルの不調など血流障害や精神神経系に起因する疾患に関して多数報告されています。その他にも、糖尿病やその合併症、高血圧、高脂血症など多岐にわたって報告されています。
安全性	使用量を遵守し、適切に使用すれば安全性が高いと考えられています。 有 害 現 象；ごくまれに軽度の胃腸障害、頭痛、動悸、めまい、皮膚アレルギーを起こすことが報告されています。 妊婦・授乳婦；安全性の情報は十分では無いので、使用しないでください。 相 互 作 用；ワーファリンなど抗凝固薬との相互作用に注意が必要です。また手術2週間前には使用を止めてください。 AHPA（米国ハーブ製品協会）によると、MAO（モノアミン酸化酵素）相互作用に注意が必要であり、MAO阻害薬に影響を与える可能性があるとしてされています。

製品ラインナップ（食品原料）

製品名	イチョウ葉エキス末M	イチョウ葉抽出液M
一般名称	イチョウ葉エキス	イチョウ葉抽出物
最終製品での推奨原料表示名	例)イチョウ葉エキス	例)イチョウ葉抽出物、エタノール
成分または組成	本品は、イチョウ <i>Ginkgo biloba</i> (<i>Ginkgoaceae</i>) の葉を含むエタノールで抽出して製したエキス末	本品は、イチョウ葉エキス末Mを含むエタノールで抽出して製した抽出液
形 状	エキス末	抽出液
分 類	食品原料	食品原料
成分含量	フラボノイド配糖体24%以上、テルペンラクトン6%以上、ギンコール酸5ppm以下	フラボノイド配糖体 1%以上
1日最大摂取量	240mg	5g
包装単位	1kg、5kg	2kg、10kg

※本資料は、一般消費者の方に対する情報提供を目的としていません。また特定の商品の効果効能をうたうものではありません。

各種製品に関するお問い合わせは…

天然物を科学し、創意工夫する。
 **松浦薬業株式会社**

〒466-0054
 愛知県名古屋市中区円上町24番21号
 E-mail：info@matsuura-gp.co.jp

松浦薬業 原料情報 検索

TEL (052) 883-5151